

# Travel Shere

後藤 祐希

# 目的、背景、ターゲット

## 目的、背景

- ・ 作成した旅のしおりの有効活用
- ・ 人それぞれに合った多様なモデルコース
- ・ コロナ禍

## ターゲット

- ・ 知らない土地の観光を参考にしたい人
- ・ 少ない日数で効率よく観光したい人
- ・ 時間の目安を知りたい人
- ・ 旅のしおりを簡単に作成、共有したい人

# システム説明

## 全体のシステム(ログイン前、ログイン後共通)

- ・ 旅のしおりの作成
- ・ 旅のしおりの共有
- ・ 公開してあるモデルコースの確認(参考)
- ・ いいね数の確認
- ・ 各都道府県別モデルコースの確認
- ・ ログイン機能
- ・ 新規アカウント作成機能

# システム説明

## ログイン後

- ・ 旅のしおりの公開機能(公開/非公開を選ぶ)
- ・ いいね機能
- ・ 過去に登録した旅のしおりの確認
- ・ 過去に「いいね」をしたモデルコースの確認
- ・ ログアウト
- ・ パスワードリセット機能
- ・ 退会

# デモ(画面共有)

# このシステムの売り

## 共有機能

ログインをしていなくてもURLで共有することができる

## 旅のしおりの作成

誰でも簡単に旅のしおりの作成ができる

# 不足機能や今後のシステム展望

## PDF印刷機能

作成した旅のしおりを三つ折りか四つ折りの持ちやすいレイアウトに変更して印刷する

## Googleカレンダーと連携

Googleカレンダーと連携し、予定を自動で入れる機能

## デザイン

使いやすさを意識した結果、寂しい感じになってしまったのでもう少し凝ってみる

イメージはこんな感じ



# 今回の開発を通じての感想

- ログイン周りの機能の実装(JetStream)に物凄く苦戦しました。  
説明をしているサイトはいくつもあるものの全体的に中々上手くいかず、トライ&エラーの連続でした。
- Laravel自体も記事を参考にするとバージョンの関係で上手くいかなかったりと  
途中からは公式ドキュメントを読み込む癖も付きました。
- どの機能の実装も手探りで調べていたため、  
完璧な理解には至っていないため、繰り返し学習が必要だと感じました。

今回のような簡単なアプリケーションの開発においても、全体的なレベルがまだまだ足りていないと痛感しました。  
これからも引き続き、学習に励んでエンジニアとしてレベルアップをしていかなければなと感じました。